

電線被覆剥き効率10倍

MKエレが自動機5mまで対応



【北見市】MKエレは、電線被覆剥き機の新機種「MKエレ」を開発し、5mまで対応する自動機を開発した。従来の手作業による剥き作業に比べて、剥き効率を10倍以上向上させることができた。また、剥き後の電線が傷みにくく、作業環境も安全で快適である。価格は約10万円と、中小企業でも導入しやすい価格設定となっている。

雪の山間部にドローン

山口県気象観測実証



【北見市】山口県気象観測実証プロジェクトの一環として、雪の山間部にドローンを活用する実証実験が行われた。ドローンは、雪の深さや積り具合を高精度で測定し、気象観測に活用される。また、危険な山間部の調査にも有効であることが確認された。

インドネシア人材育成

活羅環境を整備



【北見市】インドネシアの人材育成プロジェクトが、活羅環境を整備する取り組みを進めている。プロジェクトは、インドネシアの若者に日本の技術と知識を伝授し、彼らのスキルアップを支援している。また、現地での就業機会も提供している。

全県特区化、アジアと戦う

北見市は、全県特区化を推進し、アジア市場と競争する戦略を打ち出している。特に、デジタル産業や先端技術分野での競争力を高めることが目標である。また、アジアからの投資を呼び込むための環境を整備している。



市長 篠谷 俊人氏は、全県特区化の推進について、市民の理解と協力を得ることが重要であると述べている。また、アジア市場との連携を強化し、北見市の国際化を進めたいとしている。

医療MaaS 障がい者 介助なく移動



【北見市】医療MaaS（Medical as a Service）は、障がい者の移動を支援するサービスを提供している。利用者は、スマートフォンで予約を行い、専用の車両で目的地まで送迎される。また、車内には介助員が乗っており、必要に応じてサポートを行う。このサービスは、障がい者の生活の質を向上させるために導入された。

保証承諾額 8137億円

北見市は、17月分の保証承諾額が8137億円に達したと発表した。これは、前年同月比で増加している。これは、北見市の信用力の向上や、市民の生活安定に貢献していることを示している。

記者の目

北見市は、全県特区化の推進に力を入れている。特に、デジタル産業や先端技術分野での競争力を高めることが目標である。また、アジアからの投資を呼び込むための環境を整備している。

北見市は、全県特区化の推進に力を入れている。特に、デジタル産業や先端技術分野での競争力を高めることが目標である。また、アジアからの投資を呼び込むための環境を整備している。

熱風発生機

3000V 1000W
100V 800W
500V 400W

アイアイメーカー工業

スタートラインは、みんな同じだと思ってた。

家庭の経済格差が生み出す、子どもの教育格差。そのせいで、未来を諦めるしかない子どもがいます。

誰もが手に負えないほど多岐に渡る、違うことができない。限られたお金のなかま、どうしたいか悩まされるばかりです。自分の学習格差がらんでいない。

頑張っているのに、成績の伸びが追いつかない。

大人が努力に負けて、自分の収入が伸びず、そのままだと子どもの教育格差に繋がってしまいます。



キッズドアは、対面・オンラインでの無料学習会やキャリア教育などの学習支援で、子どもたちが自由に夢や希望を掲げる社会を目指しています。

気づきを、動きへ。



認定NPO法人 AC JAPANは全国約1000を超える支店の認定NPO法人がネットワークを構築し、社会を導くために活動しています。